

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	JTB トラベル&ホテルカレッジ
設置者名	学校法人 国際文化アカデミー

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	国際観光ビジネス科観光総合コース	夜・通信	2,410 時間	80×2=160 時間	
	国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース	夜・通信	2,680 時間	80×2=160 時間	
	国際ホテル&ブライダル科	夜・通信	2,795 時間	80×2=160 時間	
商業実務専門課程	国際観光ビジネス科	夜・通信	1,388 時間	45×2=90 時間	
	国際観光ビジネスデュアル科	夜・通信	2,588 時間	45×2=90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校事務窓口、職員室に閲覧用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手（コピー）もできるようにしている。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	JTB トラベル&ホテルカレッジ
設置者名	学校法人 国際文化アカデミー

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務窓口に閲覧用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手（コピー）もできるようにしている。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社人事担当役員	3年 2020.4.1 ～2023.3.31	就職に関する専門的な知見、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	旅行会社個人旅行担当役員	3年 2020.4.1 ～2023.3.31	授業内容・編成及び就職に関する専門的な知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	JTB トラベル&ホテルカレッジ
設置者名	学校法人 国際文化アカデミー

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度、学内会議で決まった基本方針に則り、学生アンケート等を参考にその設定・講義内容について検討・検証を行い、各授業を担当する教員により、内容作成を行っている。</p> <p>シラバスに関しては、科目名、必要時間数、担当教員名、目的と主な内容、到達目標レベル、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、試験と評価方法、使用テキストの各内容を網羅した学内統一様式にて作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、3月中旬の全体教職員会議で確認の上、3月理事会時の議案で翌年度の事業運営計画が承認されることで正式決定する。全体教職員会議終了後に下記方法にて公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学校事務窓口、職員室に閲覧用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手(コピー)もできるようにしている。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則及び履修規程において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。</p> <p>(卒業・修了の認定)</p> <p>学則 第17条 校長は、所定の単位数を取得した者に対し、卒業または進級を認める。単位は、学年ごとに履修すべき学科目について試験を行い、合格者に対して認定する。ただし実習については、実習の成績によって単位を認定する。</p> <p>(単位の認定)</p> <p>履修規程 第2条 単位は、各授業科目について、当該年次の授業時間総数の70%以上出席し、かつ、その科目の期末試験(定期試験、または追試験をいう)に合格した場合に付与する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修規程第7条において、下記の採点及び成績評価基準を定め、学内の成績評価として使用している。 当校では就職の学内推薦枠の候補者選定や、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。</p> <p>1. 定期試験 採点 85 点以上 : 評価 A " 70 点以上～85 点未満 : " B " 50 点以上～70 点未満 : " C " 0 点以上～50 点未満 : " D</p> <p>2. 追試験 採点 50 点以上 : 評価 C " 50 点未満 : " D</p> <p>3. 評価が A、B、C の者を合格とし、単位を付与する。D 評価を不合格とする。 成績の分布状況は各学生の平均点を 49 点以下及び 50 以上～100 点を 10 点ごとに区分し、各々人数を加わって把握している。 成績評価方法を規程した履修規程第7条は学生必携ハンドブックに記載するとともに各クラス GA で学生に通知し、下記の方法にて公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校事務窓口、職員室に閲覧用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手（コピー）もできるようにしている。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) JTB トラベル&amp;ホテルカレッジは専門能力と豊かな人間性・ホスピタリティ精神溢れる職業人を育成し、旅行、及び観光・ホテル業界の発展と人々の交流に貢献することを経営方針に掲げ、旅行・観光業界に有能でグローバルな職業人を輩出し、各々の発展に貢献することを目的としている。 卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細については学則第 17・18 条及び履修規程に記載している。 履修規程に記載した学生必携ハンドブックは全学生に配布し、学則とともに下記の方法にて公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校事務窓口、職員室に閲覧用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手（コピー）もできるようにしている。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	JTB トラベル&ホテルカレッジ
設置者名	学校法人 国際文化アカデミー

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務窓口に関連用ファイルとして設置し、誰でも閲覧ができるようにしており、希望すれば入手（コピー）もできるようにしている。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
観光・旅行		商業実務専門課程	国際観光ビジネス科 観光総合コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,960 単位時間/単位	2,065 単位時間/単位		465 単位時間/単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
260人	254人	7人	21人	29人	50人		

注) 教員は各学科に渡って授業を行っているため、学校全体の教員数を記載した。

注) 生徒総定員数は「国際観光ビジネス科」として総計を記載した。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業の中で、担当教員が必要に応じて講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを実施したり、ホームワークを課し、その提出を求めている。 また、随時、クラス担任教員や就職進路指導室の教職員による学習や生活相談及び就職進路指導を実施し、意欲のある学生の積極的な学修を支援している。

注)各学科とも共通である。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
126人 (100%)	8人 (6.3%)	116人 (92.1%)	2人 (1.6%)
(主な就職、業界等) 旅行会社（JTB及びJTBグループ各企業、小田急トラベル、菱和ダイヤモンド航空サービス、びゅうトラベルサービス、JR東海ツアーズ、ホテル（プリンスホテル、日本ホテル、ヒルトン東京、サンルートプラザ東京、渋谷エクセルホテル東京、）運輸（東京メトロ、つくばエクスプレス、JALグランドサービス、羽田空港サービス）			
(就職指導内容) 個別面接指導（ビデオ使用）、エントリーシート・履歴書添削、グループディスカッション実地訓練、面接Q&A講習、マナー講座、身だしなみ講座、SPI、OB就活体験講座、学校開催の各企業別会社説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者資格、国内旅行業務取扱管理者資格、地理検定、世界遺産検定、ホテルビジネス実務検定、アシスタント・ブライダル・コーディネーター資格、英検、TOEIC、パソコン検定、秘書検定、ビジネス能力検定等			
(備考)（任意記載事項） 総合旅行業務取扱管理者資格合格率52.6%（全国平均合格率11.0%）/2018年度 国内旅行業務取扱管理者資格合格率75.8%（全国平均合格率39.1%）/2019年度			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
294人	18人	6.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由による修学継続困難、転居等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員との定期的及び不定期な個人面談を通して、常に修学・進路相談を実施している。就職進路指導室にキャリア・コーディネーターや保健師を配し、就職進路指導やメンタルケア等にも力を入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
観光・旅行		商業実務専門課程	国際観光ビジネス科 グローバル・インバ ウンドコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,960 単位時間/単位	2,695 単位時間/単位	単位時間/単位	465 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
260人		29人	0人	21人	29人	50人	

注) 教員は各学科に渡って授業を行っているため、学校全体の教員数を記載した。

注) 生徒総定員数は「国際観光ビジネス科」として総計を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業の中で、担当教員が必要に応じて講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを実施したり、ホームワークを課し、その提出を求めている。 また、随時、クラス担任教員や就職進路指導室の教職員による学習や生活相談及び就職進路指導を実施し、意欲のある学生の積極的な学修を支援している。

注) 各学科とも共通である。

注) 国際観光ビジネス科グローバルインバウンドコースは2020年度開校のため卒業生、中退退学者等は無し。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
ホテル		商業実務専門課程	国際ホテル&ブライダル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,030 単位時間/単位	1,830 単位時間/単位		1,070 単位時間/単位		
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	49人	8人	21人	29人	50人		

注) 教員は各学科に渡って授業を行っているため、学校全体の教員数を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業の中で、担当教員が必要に応じて講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを実施したり、ホームワークを課し、その提出を求めている。 また、随時、クラス担任教員や就職進路指導室の教職員による学習や生活相談及び就職進路指導を実施し、意欲のある学生の積極的な学修を支援している。

注) 各学科とも共通である。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	20人 (95.2%)	1人 (4.7%)
(主な就職、業界等) ホテル (帝国ホテル、ホテルニューオータニ東京、横浜ロイヤルパークホテル、プリンスホテル、日本ホテル、セルリアンタワー東急ホテル、東武ホテルマネジメント、ホテル雅叙園東京、ノバレーゼ)			

<p>(就職指導内容)</p> <p>個別面接指導(ビデオ使用)、エントリーシート・履歴書添削、グループディスカッション実地訓練、面接 Q&amp;A 講習、マナー講座、身だしなみ講座、SPI、OB 就活体験講座、学校開催の各企業別会社説明会等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ホテルビジネス実務検定、アシスタント・ブライダル・コーディネーター資格、英検、TOEIC、パソコン検定、秘書検定、ビジネス能力検定等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	4人	8.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、経済的な理由による修学継続困難、転居等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任教員との定期的及び不定期な個人面談を通して、常に修学・進路相談を実施している。就職進路指導室にキャリア・コーディネーターや保健師を配し、就職進路指導やメンタルケア等にも力を入れている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
観光		商業実務専門課程	国際観光ビジネス科			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  500 単位時間/単位		開設している授業の種類		
				講義	演習	実習
2年	夜			1,392 単位時間/単位	60 単位時間/単位	単位時間/単位 単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		0人	0人	21人	29人	50人

注) 教員は各学科に渡って授業を行っているため、学校全体の教員数を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業の中で、担当教員が必要に応じて講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを実施したり、ホームワークを課し、その提出を求めている。 また、随時、クラス担任教員や就職進路指導室の教職員による学習や生活相談及び就職進路指導を実施し、意欲のある学生の積極的な学修を支援している。

注) 各学科とも共通である。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) J & J ヒューマンソリューションズ、ひらまつ			
(就職指導内容) 個別面接指導(ビデオ使用)、エントリーシート・履歴書添削、グループディスカッション実地訓練、面接Q&A 講習、マナ講座、身だしなみ講座、SPI、OB 就活体験講座、学校開催の各企業別会社説明会等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>総合旅行業務取扱管理者資格、国内旅行業務取扱管理者資格、地理検定、世界遺産検定、ホテルビジネス実務検定、アシスタント・ブライダル・コーディネーター資格、英検、TOEIC、パソコン検定、秘書検定、ビジネス能力検定等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>総合旅行業務取扱管理者資格合格率 52.6% (全国平均合格率 11.0%) /2018 年度 国内旅行業務取扱管理者資格合格率 75.8% (全国平均合格率 39.1%) /2019 年度</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由による修学継続困難、転居等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員との定期的及び不定期な個人面談を通して、常に修学・進路相談を実施している。就職進路指導室にキャリア・コーディネーターや保険師を配し、就職進路指導やメンタルケア等にも力を入れている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
観光		商業実務専門課程	国際観光ビジネスデュアル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	980 単位時間/単位	1,392 単位時間/単位	単位時間/単位	1,260 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		33人	0人	21人	29人	50人	

注) 教員は各学科に渡って授業を行っているため、学校全体の教員数を記載した。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業の中で、担当教員が必要に応じて講義内容の修得状況チェックのためのミニテストを実施したり、ホームワークを課し、その提出を求めている。 また、随時、クラス担任教員や就職進路指導室の教職員による学習や生活相談及び就職進路指導を実施し、意欲のある学生の積極的な学修を支援している。

注) 各学科とも共通である。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	12人 (85.7%)	2人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 旅行会社 (JTB 及び JTB グループ 各企業)、ホテル (プリンスホテル、強羅花壇、沖縄はいむるぶし、ひらまつ)、運輸 (JR 東海パッセンジャーズ、会津乗合自動車、JAL スカイエアポート那覇)			
(就職指導内容) 個別面接指導 (ビデオ使用)、エントリーシート・履歴書添削、グループディスカッション実地訓練、面接 Q&A 講習、マナー講座、身だしなみ講座、SPI、OB 就活体験講座、学校開催の各企業別会社説明会等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者資格、国内旅行業務取扱管理者資格、地理検定、世界遺産検定、ホテルビジネス実務検定、アシスタント・ブライダル・コーディネーター資格、英検、TOEIC、パソコン検定、秘書検定、ビジネス能力検定等
(備考) (任意記載事項) 総合旅行業務取扱管理者資格合格率 52.6% (全国平均合格率 11.0%) /2018 年度 国内旅行業務取扱管理者資格合格率 75.8% (全国平均合格率 39.1%) /2019 年度

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	4人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的な理由による修学継続困難、転居等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員との定期的及び不定期な個人面談を通して、常に修学・進路相談を実施している。就職進路指導室にキャリア・コーディネーターや保健師を配し、就職進路指導やメンタルケア等にも力を入れている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
国際観光ビジネス科 昼間部(2年生)	120,000円	1,050,000円	197,000円	
国際ホテル&ブライダル科 昼間部(2年生)	120,000円	1,050,000円	197,000円	
国際観光ビジネス科 夜間部(2年生)	60,000円	520,000円	97,000円	
国際観光ビジネスデュアル科 夜間部(2年生)	60,000円	580,000円	97,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表している <a href="https://www.jtb-college.ac.jp/about/shugakushien/">https://www.jtb-college.ac.jp/about/shugakushien/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かして教育内容・学校運営等について評価を行う。 評価内容は、理事会、評議員会、学校経営会議、全教職員会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
旅行会社 社員	3年	企業
ホテル 社員	3年	企業
地元金融機関 社員	3年	地域
旅行会社勤務	3年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表している <a href="https://www.jtb-college.ac.jp/about/shugakushien/">https://www.jtb-college.ac.jp/about/shugakushien/</a>		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表している。 <a href="https://www.jtb-college.ac.jp/">https://www.jtb-college.ac.jp/</a>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。